

新たな息吹 SINCE2007



さわの里だより



横浜市立さわの里小学校 学校だより

URL <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sawanotosato>**8・9月号**

おかえりなさい

校長 倉本 恵

いよいよ明日から2学期スタート!今日をどんな気持ちで迎えているのかな、みんなの挨拶が1学期と同じように元気だといいな、と思いながら、この学校だよりを書いています。(今日は夏休み最終日の26日)

さて、みなさんの今年の夏は、どんな夏でしたか?

私は1歳の孫を抱っこしていて、自分ではちょっとこけただけのつもりが、踏ん張ったら右足に激痛が走り、みるみるうち足首がパンパンに腫れあがり、冷や汗が吹き出し、人生初の大きな捻挫をしてしまいました。オリンピックで盛り上がる中、痛くて苦い経験となりましたが、車いすや松葉杖を使う生活の中で、車いすや松葉杖に周囲の人にぶつかられる恐怖、自分で動けないもどかしさや、交通機関等でのサポート体制のありがたさ等を実感し、今まで見えなかったことに気付くことのできた夏になりました。

今から20年ほど前の夏休みのこと。我が子は小学生で、家族で旅行中のTV画面に、丹沢の川が増水しキャンプ中の人たちが流されて亡くなるという事故が映し出されました。亡くなった方の中に、我が子と同じクラスのお子さんがいたと知った時の衝撃は、今でも忘れることができません。

「良い夏休みを!」と言って終業式で送り出した子が、帰ってこないことがある・・・門で「必ずまたね」という思いを込めて送り出し、「おかえりなさい!」と始業式で全員を迎えられますようにと願う私の夏は、それから毎年ずっと続いています。

私の足首はまだ本調子ではありませんが、元気に正門に立って子どもたちを迎えられるようになるまでにはなんとか回復しました。「おかえりなさい」と子どもたちを学校に迎え入れることのできる日に、改めて幸せを感じます。

夏休みが終わり、学校が始まるのが、どきどきする子も、わくわくする子もいます。わくわくする顔を思い浮かべながら、教職員は夏休み中も作業や研修にも励み、2学期開始に向けての準備を進めてきました。(HPをご覧ください。)

横浜市教育委員会は8月22日に家庭と学校の連絡機能「すぐーる」を使って全家庭に、夏休みが終わり学校再開にあたり登校への不安や悩みを感じやすいこの時期に、保護者や子どもたちに向けてメッセージを配信するという初めての取組をおこないました。(こちら詳しくはHPをご覧ください。)

本校も、26日に「すぐーる」を使い子どもたちの健康観察アンケートを実施しました。ICTも活用しながら、わくわくしている子たちは、その気持ちが続くよう、どきどきしている子たちは少しずつ慣れていくことができるよう、目の前の子どもたち一人一人の様子を見守りつつ、2学期をスタートしていきます。最後になりましたが、キッズクラブや学童クラブ、放課後デイサービス、夏のイベントを企画運営して下さった地域の皆様、そして保護者の皆様など、子どもたちの夏休みを支えて下さった方々にお礼申し上げます。そして、2学期もよろしくお願いたします。



ガーデニングボランティアの皆様のおかげで、暑さに負けず、花壇は美しい花でいっぱいです。ありがとうございます!!

